



専門性と多様性を追求する  
 救急医を目指す

救急科専攻医募集案内

# ACUTE CARE PHYSICIAN

## ACCESS

地方独立行政法人 堺市立病院機構

### 堺市立総合医療センター

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号  
 TEL:072-272-1199 (代表)  
 FAX:072-272-9911 (代表)

- JR阪和線津久野駅より徒歩約5分
- 阪和自動車道「堺IC」より約10分  
 阪神高速道路15号堺線「堺出口」  
 高架道を出口まで進み  
 国道26号線より約15分



<https://www.sakai-city-hospital.jp/>



### 病院見学・オンライン 個別研修説明会のご案内

堺市立総合医療センターでは、病院見学や  
 オンラインによる説明会を実施しています。  
 詳しくはWEBサイトをご覧ください。



〈問い合わせ先〉  
 臨床教育研究センター  
 TEL:072-272-9950 FAX:072-272-9911  
 E-mail:rinkyo@sakai-hospital.jp



ACUTE  
CARE  
PHYSICIAN

救急科

WEBサイトはこちら



救急科専攻医が学び、成長できる環境。

## その全てが、ここにある。

救急医療に関わる機関や組織が

全て一つにまとまっている堺市。

当院はその中心で、堺市二次医療圏の住民の健康を守っています。

あらゆる領域の救急患者を受け入れ、

迅速性と専門性を同時に追求した当院の救命救急センター。

救急科専門医を目指す若手医師にとって非常に学びの多い環境があります。

### 院長あいさつ

幅広い臨床実践能力と  
「人間力」のある医師を育成

当院では「優れたジェネラリストでなければ、スペシャリストにはなれない」をスローガンに、幅広く診療できる医師を育成すべく、複数の専門領域をローテーションする研修体制を採用し、臨床研修を行ってきました。幅広い臨床実践能力を身につけ、「地域や市民に貢献できる医療を提供したい」という心を研修を通じて伝えていきたいと思えます。また、指導医、研修医が一丸となって臨床現場で患者さんの治療にあたることにより、指導医も研修医もともに成長できるという「教え、教えられる文化」という言葉を合言葉に教育マインドを大切にしています。

今後、求められるのは医療の知識やスキルだけでなく、「人間力」を持ち合わせる医療人です。色々なアイデアをチームで話し合い、互いに高め合いながら、「人間力」のある医師を育成していきたいと考えています。超高齢社会の到来により、病院内で実践される急性期治療を通して地域住民の健康を維持するためばかりではなく、医療と介護の連携や、地域住民の健康意識の改善・疾病予防への取り組みなど、時代や地域が必要とする医療を肌で感じてください。そして、来たるべき少子高齢化社会における理想的な急性期・臨床研修病院をともに創り上げていきましょう。

病院長  
大里 浩樹



## 01

### ☑ 救急科専攻医の育成方針

“救急医療の最後の砦”として、あらゆる重症患者を受け入れ、数多くの専門家を備えている当院で、ジェネラルな視点の医療人を育成します。



#### 単独型と併設型を融合させた救命救急センターで学ぶ

都心部に多い三次救急に特化し、初療からの救命医療や入院後の根治治療を一貫して迅速に行う「単独型」と、地方都市に多い一次から三次救急まで多くの患者を受け入れ、初療のみ行い、専門的治療は各科が行う「併設型」の両者の利点を組み合わせた全く新しいタイプの救命救急センターを開設しました。迅速性と専門性、一貫性を追求した環境で救急医療を学ぶことが可能です。



#### 一人一人の患者と向き合う救急医療を学ぶ

二次三次救急を分けることなく、多くの患者を受入れている当院で、専攻医が主体的に一人一人の患者と向き合って最善の医療を提供できることを目標としています。救急科専攻医育成プログラムに参加すれば、救急科専門医に求められる判断力と手技、他科専門医が有する最先端の技術や手技をも学ぶことができ、あらゆる領域の救急患者の発症から社会復帰まで対応できる救急医を育成します。



#### 地域包括ケアを見据えた救急医療を学ぶ

救急医療は、現場（病院前）からの迅速かつ適切な対応が必要です。救急医療に携わる全ての機関や団体が一つであると、あらゆる患者に本当の意味で適切な医療を提供できます。そして、すべての機関や団体が“顔の見える関係”となり、地域内の救急医療体制が充実し、円滑に進みます。地域包括ケアを見据えた救急医療を身につけ、患者と地域を救う救急医を育成します。

### 救急科専門研修プログラム統括責任者あいさつ

#### 「救急医は、時代とともに、地域とともに生きる」社会で求められる医師を育成

初期診療から、手術、処置、集中治療、その後転院までシームレスに患者さんを診療できることが当院の強みです。その中でも救急科では、他施設と比べ外傷比率が高く、当プログラムでは内因性疾病だけでなく、外傷を主とする外因性疾病を数多く経験できます。また、専攻医の将来について話し合い、一人一人の希望に応じたフレキシブルな研修を行います。救急医療はインフラのようなもの。地域や時代によってニーズがあり、環境に合わせて自分を変えていける医師が求められます。“時代とともに、地域とともに生きる救急医”を育成していきます。

救急科専門  
研修プログラム  
統括責任者  
中田 康城





# 02

## 救急科専門研修プログラム

基幹研修施設となる当院で1.5年、連携研修施設で1.5年、計3年間の研修プログラム。救急診療だけでなく、小児救急や災害医療、地域医療など幅広く研修を行います。

### 各施設での研修期間

<b>24か月</b> 堺市立総合医療センター 救命救急センター 救急診療 3次診療 重症外傷 災害医療 メディカルコントロール ドクターカー	<b>6か月</b> 耳原総合病院・ER 救急診療 地域医療 小児救急	<b>6か月</b> 宇治徳洲会病院 救急総合診療科 救急診療・3次診療 入院診療	<b>6か月</b> ベルランド総合病院 急病救急部 初期・2次診療 ドクターカー	<b>6か月</b> 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 3次診療 集中治療 ドクターヘリ
---	--	---	---	--

〈研修スケジュール例〉

施設類型	施設名	主たる研修内容	1年目	2年目	3年目
基幹研修施設 (救命救急センター)	堺市立総合医療センター	救急診療・外傷診療・集中治療・ACS・ドクターカー・MC・災害医療	A A		A A
二次救急医療施設	耳原総合病院	救急診療・ER・小児・地域医療	B B	B	B
二次救急医療施設	宇治徳洲会病院	救急診療・3次診療・入院診療	C C	C C	
二次救急医療施設	ベルランド総合病院	救急診療・ドクターカー		A	
三次救急医療施設 (高度救命救急センター)	大阪大学医学部附属病院	救急診療・集中治療・ドクターヘリ		A	B C

専攻医	1年目	2年目	3年目
A	堺 堺	べ 阪大	堺 堺
B	堺 堺	堺 宇治	阪大 堺
C	堺 堺	堺 堺	耳 阪大

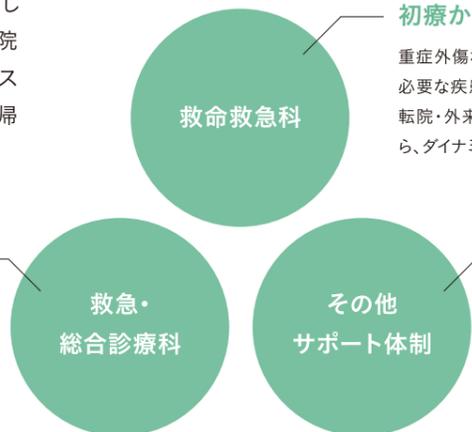
※A/B/C:専攻医  
※セル(研修期間)の最小単位:6か月

### 当院での研修について

堺における唯一の三次救急医療施設として、あらゆる重症患者を受け入れる当院の救命救急センター。一貫したシームレスな医療で救急患者の発症から社会復帰まで担当医として診療します。

#### チーム医療で診療・治療・管理

救急医・集中治療医・各専門内科医・麻酔科医がチームとなり、診療・治療・管理にあたります。専門性が多様のため、各診療ガイドラインに対応し、病態論に踏み込む深い思考をもった診断・重症管理が経験できます。



#### 初療から手術、外来フォローまで

重症外傷などの外因性疾患だけでなく急性腹症など手術が必要な疾患にも対応。初療から手術やIVR、術後集中治療、転院・外来フォローまでを担当します。繊細な鏡視下手術から、ダイナミックな外傷外科手術まで経験できます。

#### 院内各科・チームの強力なサポート

小児科医師、産婦人科医師によるサポートをはじめ、人工呼吸器設定などに対応する臨床工学技士チーム、精神科リエゾンチームを設置。また、ハートコール、吐血コール(緊急内視鏡)、ブレインコールなど24時間体制を敷いています。

# 03

## 救急科専門研修の特徴

病院で救急患者を受け入れるだけでなく、あらゆる場面で診療できる救急医を養成する環境があります。



### 質の高い救急医療を行う「病院前医療」

ドクターカーによる現場出動、救命救急センター外に隣接する堺市消防局救急ワークステーション(消防分署)との連携により、積極的な病院前医療を行うとともに、救急救命士の教育も行っています。限られた医療資源の中で迅速な判断を行う技術と、救急隊に対する教育方法の取得を目指します。



### 地域の救急医療を担う「メディカルコントロール」

堺市二次医療圏における救急医療の中心として、行政および堺市消防局、周辺医療機関、堺市医師会などと協力し連携します。いわば「オール堺」の救急体制を構築し、住民へ安全な医療を提供しています。救急隊への指導も含め、メディカルコントロール体制について学びます。



### 災害時も迅速な医療を提供「災害医療・DMAT」

堺市二次医療圏内で唯一の災害拠点病院、DMAT指定機関として、いざと言う時には堺市と周辺地域を守る要となります。2011東日本大震災・2016熊本地震・2018大阪府北部地震にも派遣出動しました。専攻医は積極的な参加が可能です。

**救命救急センタースタッフ**

- 常勤専従医師13名
- ※救急科専門医10名(救急医学会指導医4名含む)、外科専門医6名、整形外科専門医2名

**救命救急センター診療体制**

- 平日日勤帯:三次ホットライン担当、ドクターカー担当、二次救急担当、ICU/HCU担当、病棟担当、ACS担当、準緊急手術麻酔担当などの交代分担制
- 夜間休日帯:2人当直制+2人オンコール

### 施設紹介

最新の医療設備と施設を備え、幅広い重症患者に対応します。

#### 救命センター外来(救急外来)

三次専用初療室

- 170㎡を超える日本トップレベルの面積(通常2床、災害時最大4床運用)
- 初療室と直結する救急CT室(自走型128列CT)
- 初療室と直結する血管造影装置を組み込んだ救急専用ハイブリッド手術室

※日本初の初療処置台とCT台、手術台をカーボン製天板手術台(+シャトル)で共用する重症外傷診療システムです。CTや手術・血管造影検査などにおける患者の移動・載せ替え"1・2・3!"を行わない、患者にもスタッフにも優しいシステムです。患者搬送後、極短時間で全身CT(pan-scan)を取りつつ、同時に蘇生処置も可能です。

除染室/二次救急用診療スペース(3床)、Walk-in用診察室(4室)

#### 救命センター病棟

- ICU(8床) ■ 陰陽圧管理個室2室を含む
- HCU(22床) ■ 前室付き陰陽圧管理個室1室他、個室7室を含む

#### 救急ワークステーション

救命救急センターに隣接する救急ワークステーション。堺市消防局との実践的連携を行っています。



# 04

## ☑ 連携研修施設

当プログラムの研修先となる堺市立総合医療センター・ベルランド総合病院・耳原総合病院の3病院は、堺市内でトップクラスの救急搬送患者受け入れ病院です。

### ベルランド総合病院



WEBサイトはこちら

ドクターカーによる病院前救護に注力し救急医療教育は全職員に徹底

- 救急科領域関連病院機能：二次救急医療施設
- 指導者：救急科指導医2名、救急科専門医3名
- 救急車搬送件数：7,633件/年
- 研修部門：急病救急部



### 耳原総合病院



WEBサイトはこちら

「断らないER」を掲げる現場でER・ICU専従医が実践的な研修を指導

- 救急科領域関連病院機能：二次救急医療機関
- 指導者：救急科専門医1名、救急科指導医1名
- 救急車搬送件数：5,716件/年(2020年度)
- 救急外来受診者数：14,893人/年(2020年度)
- 研修部門：救急室、集中治療室



### 大阪大学医学部附属病院



WEBサイトはこちら

高度な実践医療と豊富な研究救急医療に必要とされる全てを経験

- 救急科領域関連病院機能：三次救急医療施設(高度救命救急センター)、災害拠点病院、DMAT 指定医療機関、大阪府ドクターヘリ基地病院
- 指導者：救急科指導医9名、救急科専門医23名
- 救急車搬送件数：1,200件/年
- 研修部門：高度救命救急センター



### 宇治徳洲会病院



WEBサイトはこちら

最新鋭の医療機器・ハイブリッドERを駆使し夜間でも昼間と同じ救急医療を提供

- 救急科領域関連病院機能：三次救急医療施設(救命救急センター)、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、DPC 特定病院群、心臓センター、脳血管センター、四肢接合センター、DMAT指定医療機関
- 指導者：救急科指導医1名、救急科専門医9名
- 救急車搬送件数：7,984件/年
- 研修部門：救命救急センター



# 05

## ☑ 当院の臨床実績

周辺人口を含め90万人の堺市における医療の中心的役割を担っている当院。圧倒的な臨床実績の当センターで、救急医療を経験できます。

### 救急搬送受入件数

国内トップレベルの受入件数を誇る。

9,444件/年  
(2019年度)

### 救命救急科入院数

二次三次救急患者のうち、主に外傷外因性疾患と手術適応患者を担当。

1,035件/年  
(2020年度)

担当

90万人

### 救命救急科手術数

多くの手術を救命救急科専従医で行っている。

775件/年  
(2017年度)

### ドクターカー出動

重症外傷やCPAに対して、堺市消防局と連携し出動。 ※平日9~17時のみ運用、出動後キャンセル含む

236回/年  
(2019年度)

### 臨床研修センター長メッセージ

#### 全人的・総合的に見る力が体得できる 充実した教育システム

当院の研修理念の根幹は、「優秀なジェネラリストでなければ優秀なスペシャリストになれない」です。皆さんがどんな subspecialty の専門医を目指しているにせよ、例えば内科であれば、内科の幅広い領域の知識や経験・技術を基盤にして専門医になるのであれば、これからの時代、いかなる分野でも活躍できません。この考えは、現行の新医師臨床研修制度の目指している理念そのものですが、当院は何十年も前から、この精神で研修医教育の歴史を重ねてきました。そして毎年常に研修プログラムを刷新し、新たな気持ちで研修医を受け入れています。「堺で後期研修して本当によかった」と皆さんに心の底から実感していただけることをお約束します。百聞は一見に如かず。是非、当院に見学に来て下さい。

臨床研修センター長  
花房 俊昭



### 先輩研修医メッセージ

#### 充実したサポート体制の中で 広い救急領域を診れる医師を目指す

外傷に興味があった私は、堺市の医療圏の中で救急搬送件数が多く、三次救急だけではなく二次救急まで幅広い患者さんを受け入れている当院で学びたいと思い、当プログラムを選びました。外傷を専門とする指導医も集まっていて、症例数も多いので、豊富な経験を積むことができている。経験に乏しい手技を行う際には、救急科の直属の先生に限らず、内科や他科の先生方も指導して下さり、手厚いサポートの中で学べます。また、初療から手術、退院まで一人の患者さんを最初から最後まで担当医として診ることができる環境が堺にはあります。

救急科 専攻医  
仲野 佐方里



## INFORMATION 病院概要

### 診療科

総合内科/循環器内科/呼吸器内科/消化器内科/血液内科/心療内科/腫瘍内科/腎臓内科/糖尿病・内分泌・代謝内科/脳神経内科/リウマチ膠原病内科/感染症内科/人工透析科/救急・総合診療科/救命救急科/消化器外科/心臓血管外科/呼吸器外科/乳腺内分泌外科/集中治療科/麻酔科/中央手術科/脳神経外科/整形外科/リハビリテーション科/泌尿器科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/皮膚科/形成外科/眼科/歯科口腔外科/小児科/産婦人科/放射線診断科/放射線治療科/病理診断科/臨床検査科/内視鏡科/遺伝診療科/予防健診科/緩和ケア科

### 病床数

487床(一般450床・救命救急センター30床・感染症7床)

### 各種指定等

DPC 特定病院群、地域医療支援病院、大阪府指定三次救急医療機関、臨床研修病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、感染症指定医療機関(第一種、第二種)、エイズ診療拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院